

◎おもな出来事

・国内では新元号「令和」が発表され、祝賀ムードとなった。米中通商交渉は閣僚級協議が継続された。焦点は知的財産権保護で、合意成立後の制裁関税の即時撤廃を要求する中国側と履行の確実性を担保したい米国側との主張に隔たりはあるが、協議は進展していると報道された。英国のEU離脱へ向けた英国議会での協議は迷走し、「合意なき離脱」もしくは「離脱長期延長」のいずれも可能性があり、今週10日のEU臨時首脳会議にて大筋が決まる。・経済指標：米国では3月のISM製造業景況感指数が前月から上昇した。3月の雇用統計では平均時給(前年比)が市場予想を下回った。・中央銀行：3月のECB理事会議事要旨によるとマイナス金利長期化の副作用が議論されたことが確認された。日銀短観によると、大企業製造業DIは大幅に悪化したが、非製造業DIの落ち込みは小幅で中堅・中小では改善がみられた。オーストラリア準備銀行は政策金利を据え置いた。

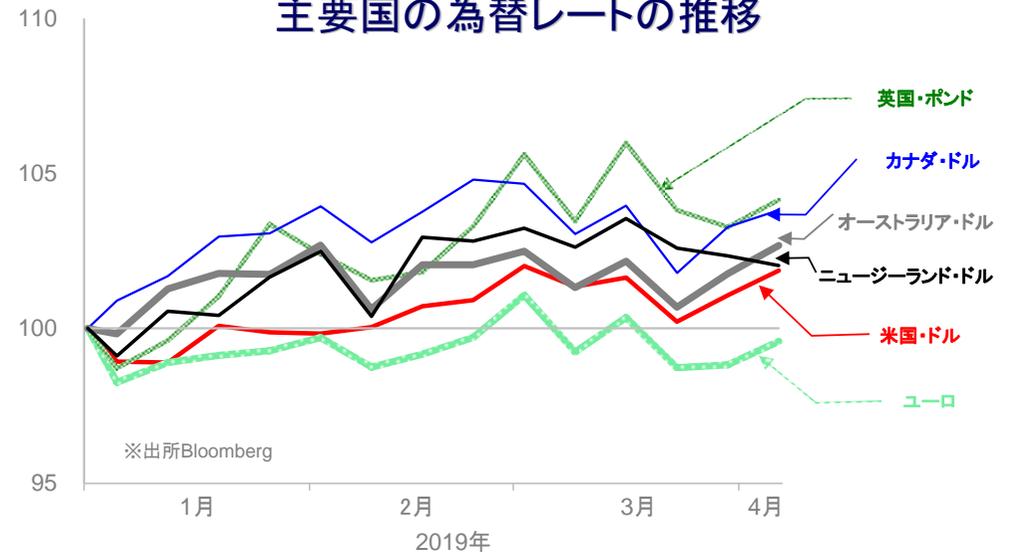
✓外国為替相場の動き

米国・ドル：米国金利の上昇や堅調な株式相場が支援材料となり、日本・円に対して上昇。
 英国・ポンド：EU首脳会議を控えレンジ内での神経質な値動きの中、米国・ドルに対して小幅に上昇。
 トルコ・リラ：統一地方選挙において政権与党が主要都市で敗北したこと、中央銀行がトルコ・リラの売却限度額を引き上げたことは好感されたものの、前週の市場混乱の余波も残り、米国・ドルに対して下落。
 南アフリカ・ランド：前週末に米国の大手格付け会社の一角が格付け見直しを延期したことから懸念材料が一旦後退し、上昇。

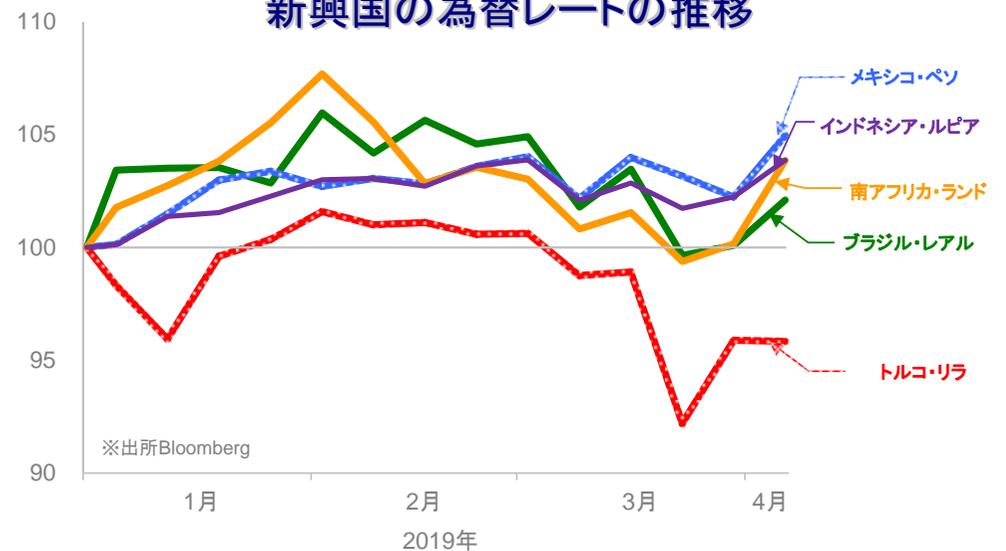
	通貨	4月5日	前回基準日	騰落率
主要国	米国・ドル	111.73	110.86	+0.78%
	ユーロ	125.30	124.35	+0.76%
	英国・ポンド	145.67	144.44	+0.85%
	カナダ・ドル	83.47	83.04	+0.52%
	オーストラリア・ドル	79.38	78.67	+0.90%
	ニュージーランド・ドル	75.20	75.43	-0.30%
新興国	ブラジル・レアル	28.834	28.267	+2.01%
	メキシコ・ペソ	5.858	5.706	+2.67%
	トルコ・リラ	19.819	19.829	-0.05%
	南アフリカ・ランド	7.928	7.646	+3.69%
	インドネシア・ルピア※	0.791	0.778	+1.58%
	中国・人民元	16.658	16.515	+0.87%

※100外貨あたりの対円レートを表示

主要国の為替レートの推移



新興国の為替レートの推移



※各為替レートの2018年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

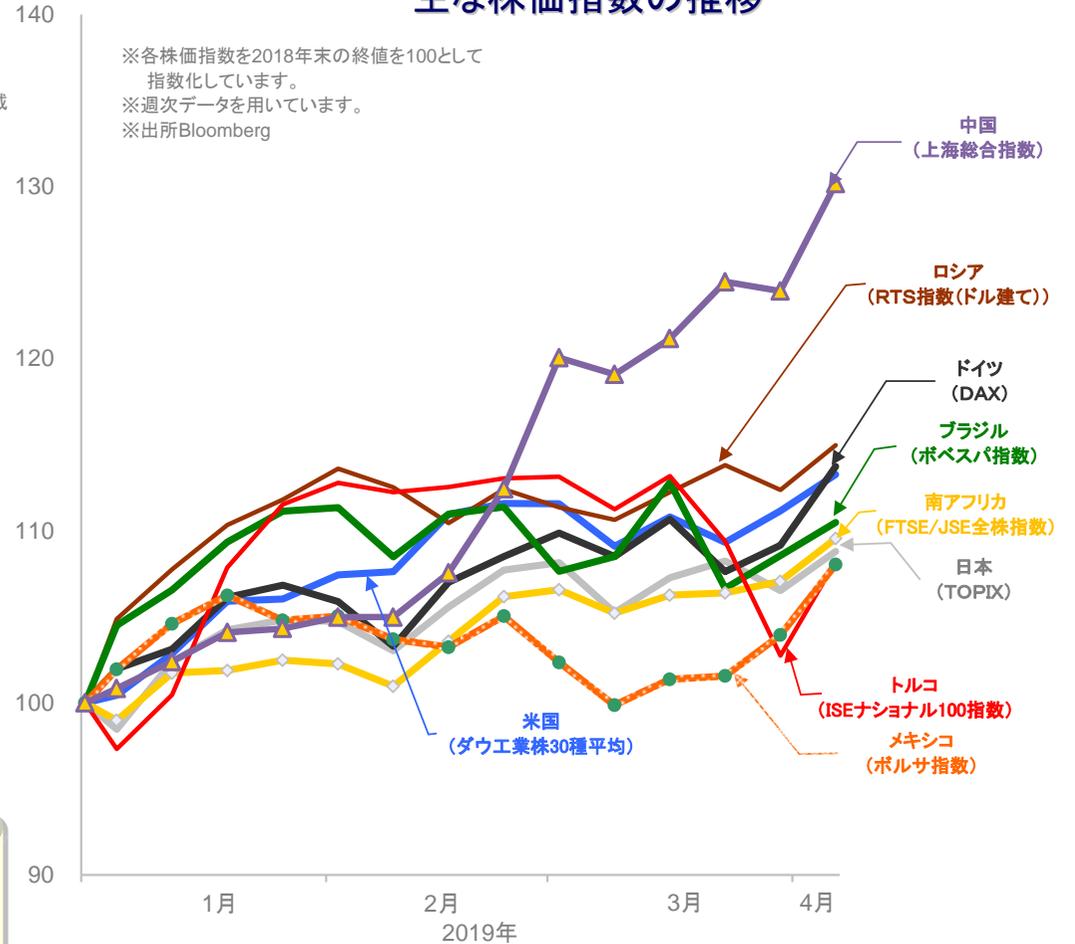
2019年4月8日

株式市場

国	株価指数	2018年末比	
		騰落率(※)	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日との比較を記載			
日本	日経平均株価	2.84%	8.96%
	東証株価指数(TOPIX)	2.14%	8.81%
	JASDAQ INDEX	1.27%	13.40%
米国	ダウ工業株30種平均	1.91%	13.28%
	S&P500	2.06%	15.39%
北米	ナスダック総合株価指数	2.71%	19.64%
カナダ	S&Pトント総合指数	1.83%	14.48%
欧州ほか	英国 FTSE100	2.30%	10.68%
	ドイツ DAX	4.20%	13.74%
	フランス CAC40	2.35%	15.76%
	イタリア FTSE MIB	2.22%	18.74%
	オーストラリア S&P/ASX200指数	0.01%	9.47%
中国	上海総合指数	5.04%	30.18%
アジア	韓国 韓国総合株価指数	3.22%	8.26%
	香港 ハンセン指数	3.05%	15.83%
	台湾 台湾加権指数	0.60%	10.04%
	インド S&P BSE SENSEX	0.49%	7.75%
	ロシア RTS指数(ドル建て)	2.31%	14.70%
トルコ	イスタンブール100種指数	5.33%	8.23%
ブラジル	ボベスバ指数	1.78%	10.49%
メキシコ	ボルサ指数(IPC)	3.95%	8.04%
南アフリカ	FTSE/JSE 全株指数	2.33%	9.56%

※騰落率は前回基準日と今回基準日の各株価指数を比較しています。

主な株価指数の推移



※各株価指数を2018年末の終値を100として指数化しています。
 ※週次データを用いています。
 ※出所Bloomberg

日経平均株価、東証株価指数、JASDAQ INDEX、ダウ工業株30種平均、S&P500及びS&Pトント総合指数及びS&P/ASX200指数、ナスダック指数、FTSE100及びFTSE MIB及びFTSE/JSE 全株指数、DAX、CAC40、上海総合指数、韓国総合株価指数、ハンセン指数、台湾加権指数、S&P BSE SENSEX、RTS指数、ISEナショナル100指数、ボベスバ指数、ボルサ指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ、日本経済新聞社、株式会社東京証券取引所、S&P Dow Jones Indices LLC、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エル シー、The NASDAQ OMX Group, Inc.、FTSE社、ドイツ証券取引所、ユーロネクスト、上海証券取引所、韓国取引所、Hang Seng Indexes Company Limited、台湾証券取引所、ボンベイ証券取引所、ロシア取引システム、イスタンブール証券取引所、サンパウロ証券取引所、メキシコ取引所に帰属します。

マーケットの動き

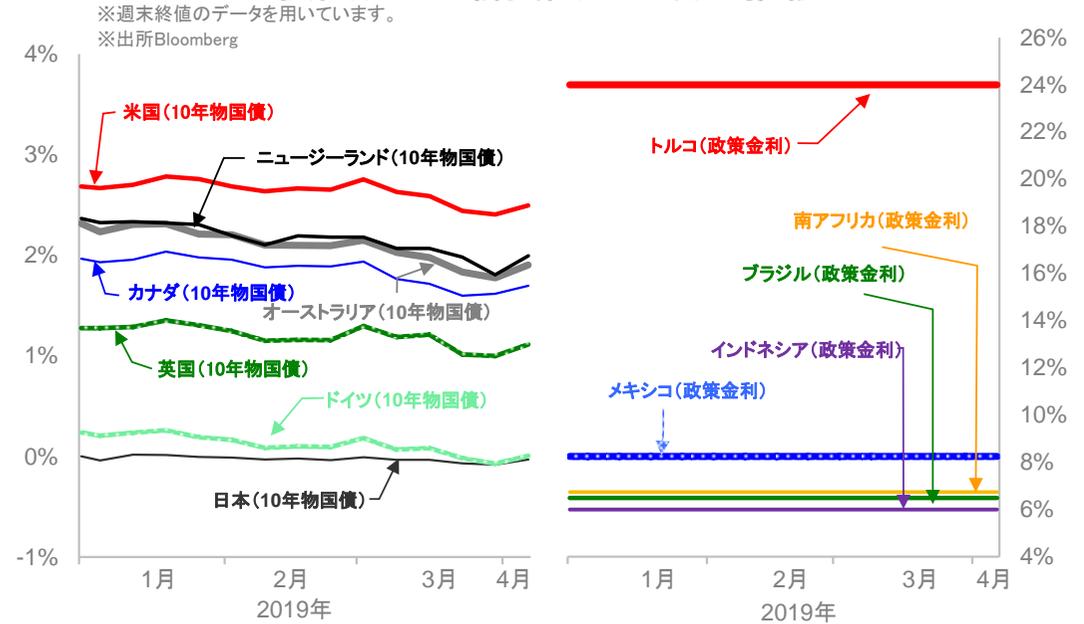
- 世界の株式相場は概ね上昇。
- ・米国: 米中協議の進展期待やISM製造業景況感指数など良好な経済指標が支援材料となり、堅調に推移。
- ・日本: 日銀短観の悪化は概ね織り込み済みとみられ、新元号の発表や中国経済指標の改善などを好感し上昇。
- ・欧州: 中国経済指標の改善を好感し、ドイツを中心に上昇。
- ・中国: 米国との通商交渉の進展期待に加え、サービス業PMI(民間調査)の上昇も支援材料となり上昇。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

金利

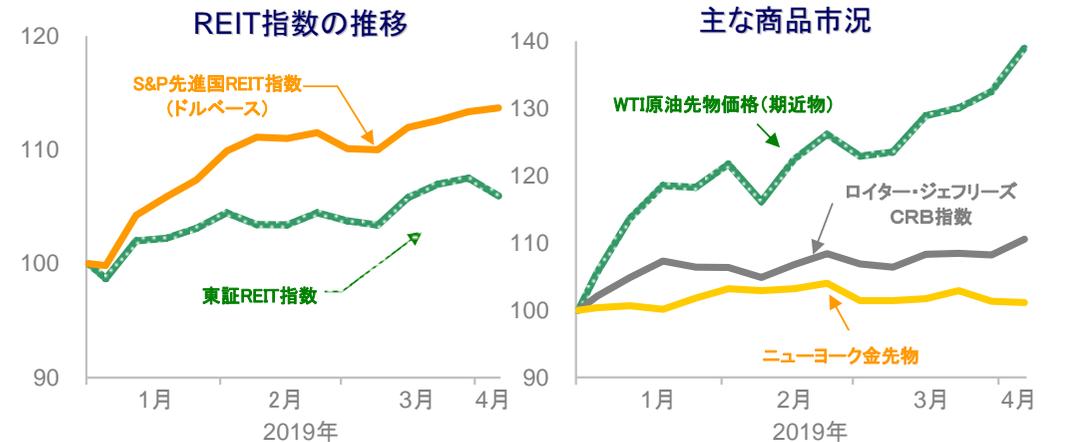
国	4月5日	前回基準日	差
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
主要国			
日本	-0.029%	-0.081%	+0.052%
米国	2.496%	2.406%	+0.090%
ドイツ	0.007%	-0.070%	+0.077%
英国	1.116%	1.000%	+0.116%
カナダ	1.699%	1.617%	+0.082%
オーストラリア	1.905%	1.775%	+0.130%
ニュージーランド	1.996%	1.805%	+0.191%
新興国			
ブラジル	6.50%	6.50%	±0.00%
メキシコ	8.25%	8.25%	±0.00%
トルコ	24.00%	24.00%	±0.00%
南アフリカ	6.75%	6.75%	±0.00%
インドネシア	6.00%	6.00%	±0.00%

主要国および新興国の金利の推移



REIT、商品市況

	4月5日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
○ REIT			
東証REIT指数	1879.86	1907.36	-1.44%
S&P先進国REIT指数(ドルベース)	274.85	274.04	+0.30%
○ 商品			
WTI原油先物価格(期近物)	63.08	60.14	+4.89%
トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数	187.68	183.75	+2.14%
ニューヨーク金先物(6月限月)	1295.60	1298.50	-0.22%



※ 東証REIT指数、S&P先進国REIT指数、WTI、トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ株式会社東京証券取引所、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシー、ニューヨーク商業取引所、Thomson Reuters、Jefferies Financial Products,LLCに帰属します。

今週の主な予定 (いずれも現地日付、中央銀行名のみ記載は金融政策発表日)

- 主な経済指標
 - ・ 8日:3月景気ウォッチャー調査(日本)、2月製造業受注(米国)
 - ・ 10日:2月機械受注(日本)、3月消費者物価指数(米国)
 - ・ 12日:4月ミシガン大学消費者信頼感指数(米国)、3月貿易統計(中国)
- 中央銀行
 - ・ 10日:ECB
 - ・ 11日:G20財務相・中央銀行総裁会議

※各指数は、2018年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。※出所Bloomberg

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。